

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第26回定例会 (平成26年12月定例会)

議案等の審議	2	議員活動報告・表彰	10
一般質問(4人)	4	第3回議会報告会の結果	11
県外行政調査研修	8	編集後記	12

議会広報
平成27年2月
第14号

めぐみ保育園議場見学



平成26年11月21日、めぐみ保育園の園児の皆さんが議場を見学に訪れました。
好きな席に座ってもらったところ、一番人気は議長席でした。

議案等の審議

陳情 5件

総務常任委員会へ付託 2件

●横田めぐみさん拉致事件に関する陳情

常任委員会の審査結果

委員会で結論に至らず審議未了

●集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書採択の陳情

常任委員会の審査結果

閉会中の継続審査

閉会中の継続審査とは
委員会に付託された陳情の審査が終了しなかった(結論が出なかった)ため、議会の閉会中に引き続き審査を行うこと。

経済常任委員会へ付託 1件

●政府による緊急の過剰米処理を求める陳情書

常任委員会の審査結果

採択すべき

議案案として意見書提出

民生常任委員会へ付託 2件

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

常任委員会の審査結果

採択すべき

議案案として意見書提出

●「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情書

常任委員会の審査結果

採択すべき
議案案として意見書提出

議会提出案件

意見書の提出 3件

●政府による緊急の過剰米処理を求める意見書

審議の結果

全員賛成で可決
農林水産大臣へ意見書を提出しました。

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

審議の結果

全員賛成で可決
内閣総理大臣等へ意見書を提出しました。

●手話言語法制定を求める意見書

審議の結果

全員賛成で可決
内閣総理大臣等へ意見書を提出しました。

町長提出案件

条例の一部改正 8件

●五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●五戸町町長の給与に関する条例の一部改正

●五戸町教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

●五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

等に関する条例の一部改正

・産科医療保障制度掛金を3万円から1万6千円に減額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

※ただし、出産育児一時金の総額は42万円に変更なし。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

例の一部改正
・出産育児一時金を39万円から40万4千円に増額。

●五戸町国民健康保険条例の一部改正

・補正額(増額) 1419万円
主な増額
・衆議院議員選挙に伴う経費。

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更
・青森市を加入。

●五戸町過疎地域自立促進計画
・平成26年度から27年度までの計画を策定。

●損害賠償請求に関する和解及び損害賠償額の決定
・五戸小学校改築工事に伴う振動により、住宅の風除室の一部が破損したもの。
損害賠償額 60万4800円

●専決処分の承認
・一般会計補正予算(第3号)
予算総額(補正後) 92億5699万3千円

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

病院事業会計の支出を

1億3976万円減額

補正予算 10件

●一般会計補正予算(第4号)

- ・予算総額(補正後) 92億9447万7千円
- ・補正額(増額) 3748万4千円

主な増額

- ・一般職給料

1468万円

- ・保育所運営費

2538万円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 4億4557万5千円
- ・補正額(増額) 487万9千円

主な増額

- ・後期高齢者医療広域連合納付金

481万円

●国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 26億4325万6千円

- ・補正額(増額) 8224万1千円

主な増額

- ・一般被保険者療養給付費

5074万円

- ・後期高齢者支援金

1492万円

●介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 22億6647万4千円
- ・補正額(増額) 4782万6千円

主な増額

- ・地域密着型介護サービス給付費

8061万円

主な減額

- ・居宅介護サービス給付費

5360万円

●下水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 4億7459万6千円
- ・補正額(増額) 309万円

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 1億5859万円
- ・補正額(増額) 221万6千円

- ・補正額(増額)

- ・簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・予算総額(補正後) 1億884万6千円
- ・補正額(増額) 198万円

●住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第1号)

- ・予算総額(補正後) 2315万4千円
- ・補正額(増額) 640万7千円

主な増額

- ・一般会計繰出金

522万円

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

- ・補正額(増額)

300万円

審議の結果

全会賛成で可決

- ・予算総額(補正後) 2991万円
- ・補正額(増額) 221万5千円

●病院事業会計補正予算(第1号)

- ・収益的収入(補正なし) 28億4508万3千円
- ・収益的支出(補正後) 29億3357万9千円

主な内容

- ・材料費(減額) 7473万円
- ・経費(減額) 5449万2千円
- ・資本的収入(補正後) 2億4034万5千円
- ・資本的支出(補正後) 4億3712万1千円

- ・資本的収入(補正後) 2億4034万5千円
- ・資本的支出(補正後) 4億3712万1千円

主な内容

- ・国保特別会計繰入金(増額) 300万円
- ・病院器械備品費(増額) 459万6千円

審議の結果

全会賛成で可決

人事 1件

●人権擁護委員の推薦
ささき のりこ 氏
◎佐々木 ノリ子 氏 (66歳)



五戸町大字上市川字家ノ後
主な職歴
・五戸町社会福祉協議会
職員

審議の結果

全会賛成で同意

平成26年12月定例会

議会傍聴者
アンケート集計表

12月定例会傍聴者

延べ人数 2人

アンケート回答者数

1人

1. 性別は? 女性

2. 年齢は? 60歳代

3. 議会を傍聴したところがありますか?

3~5回

4. 議会の日程を何で
知りましたか?

議会広報

5. 五戸ちゃんねるで議
会の一般質問を見た
ことがありますか?

ある

6. このへ議会だより
をご覧になつてい
ますか?

ある

7. 議会・議会広報に対
する意見・要望など
ありますか?

ある

◎五戸町の様子が大体
わかり、何となく安
心しています。町民
のための運営をこ
れからもよろしく
お願いいたします。

町長選へ立候補するのか

町長 立候補する



尾形 裕之 議員

12月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

質問

9月定例会では町長選へ立候補するかは検討中とのことでしたが、その後、どうなったのか。

三浦町長答弁

①合併まちづくり計画が5年延長したことを受け、それを完成させる。

②少子化対策。

③商店街の活性化

④農業の振興

⑤五戸総合病院の経営健全化

⑥社会資本(道路・下水道)の整備

これらの点を公約にする。



毎年恒例まける市(商工会館前)

次世代対策は

町長

空き家を活用

質問

若年層世帯、子育て世代が町に定住するための政策は。

三浦町長答弁

空き家バンク制度を来年度より開始する。その登録された空き家をリフォームし、貸し出したい。

質問

民間のアパートを利用する場合、住宅手当を支給してはどうか。

三浦町長答弁

検討する。

炊き込みごはんコンテストの

活用方法は

町長

給食に活用してみたい

質問

短命県返上のため、町はだしを使った炊き込みごはんのイベントをしましたが、今後は。

三浦町長答弁

来年も開催する予定であり、給食に使ったりし、



五戸町産業と文化まつりで行われた炊き込みごはんコンテスト

廃校舎を

武道館に

町長

地域の要望をふまえ検討する

質問

廃校舎をビーチサッカードーム、武道館、合宿所、合同墓などに利用してはとの声があるが、町はどう考えるか。

三浦町長答弁

地域自治会の要望をまず考え、要望がない場合は町で検討する。



根森 隆雄 議員

農業の維持対策は

町長 集落営農等の推進



小学生による田植え体験

質問

今年の米の概算金は昨年比べて大幅に下落し、農家からはこれでは今後やっていけないと悲鳴が上がっており、作るより買った方がマシだという農家も多にいる。

今後、町の基幹産業である農業を維持していくためにはどうしたらいいのか。

大規模化、飼料米への転作、畑作への転換等いろいろな手段があると思

われるが、町ではどのような方向へ導いていくつもりなのか。

三浦町長答弁

本年産の水稲における全国の作柄は「平年並み」であったが、民間在庫が高い水準にあるため、過去最低の厳しい概算金が設定され、生産者並びに関係者に衝撃と失望が広がった。

今回の米価下落は経営努力で乗り越えられるものではなく、関係機関並

びに県選出国會議員に緊急要望を行った。

平成27年以降の米対策としては、一定の収入が見込め、潜在的需要がある飼料米や酒米などの新規需要米への転換をお願いしたいと考えている。

また、米価が下落した際に収入を補てんする保険的制度である「収入減少影響緩和対策」いわゆる「ナラシ対策」への加入を併せて進めたい。

生産コストの削減には直播栽培に早期に取り組む必要があると考える。

また、農地中間管理機構の活用による集積や現在取り組んでいる集落営農の推進、薬用作物などの新たな農作物についても今後検討する必要があると思っている。

集落営農とは

農村の高齢化、担い手不足が進んでいる地域の農業・農村を維持し、発展させていくために、複数の個人が集まって、機械の共同利用、作業の共同化により経営の効率化を図る取り組みです。

集落営農のメリット

・経営の効率化
若手は機械作業、ベテランは管理作業を担当するなどにより、機械の共同利用や作業の効率化によるコスト削減が図られ、所得向上を図ることができず。

・農業・農村の維持・発展
農地を維持・管理することが集落機能の維持につながります。
・法人化することにより継続的な運営が可能
法人化すると農地の安定的な利用や取引信用力の向上、新たな人材確保が可能

となり、経営発展を図る上で有利です。

法人形態は、農事組合法人、株式会社が一般的です。

集落営農の要件

・複数の農家で構成され、規約を定め代表者を定めていること。
・共同販売経理を行っていること。

集落営農に対する支援

・農業者戸別所得補償制度
・経営体育成支援事業
・規模拡大加算交付金
・中山間地域等直接支払交付金
・農地・水保全管理支払交付金
・6次産業総合推進事業 など

近隣の方々と集落営農の立ち上げについて、話し合いから始めましょう。

まずは、
気の合う仲間から

スポーツを振興し、
農業と共に生きていく会社の創立

町長 いろいろな案を取りまとめ

精査したい



松山 泰治 議員

質問

五戸町は町長の努力により財政は上向きになっているが、全国の市町村と同様に人口減少に歯止めがかからないので思い切った対策を立てなければならぬと思う。

町長は人口減少対策の長期展望をもって、青少年が夢を持って五戸町に住みたいと思うような創意工夫をして、雇用創出をどのように考えていくのか。

三浦町長答弁

人口減少対策として、合併まちづくり計画のベッドタウン推進、低保育料、放課後児童クラブの時間延長、中学生までの入院医療費の無料化を実施。

平成27年度から第2次五戸町総合振興計画を策定し、6次産業化や新規企業への環境整備を初めとした関係機関との連携を図る。

質問

人口減少対策で1番大事なのは、この地域に合った雇用創出だと思う。

五戸町の施設を活用し、町と民間で農業と共に生きる会社を設立し、委託生産や契約栽培で確実に利益を上げ、その利益を町民に還元する。

勤務時間は、午前6時から午後3時までとし、その後の時間をスポーツなどで楽しめるような会社を創立する。

三浦町長答弁

利益還元で行う事業として、6次産業化で商店の活性化、耕作放棄地の借用、スポーツ振興、高齢者雇用、空き家を活用した事業などを行えば町の活性化が図られ、雇用の創出、人口減少に歯止めがかかると思う。

松山議員の案も含めた中で、それをまとめたきたいと思っている。できるかできないかについては、精査したい。

質問

国、県も人口減少克服プロジェクトに取り組んでいるが、県とタイアップし県果樹センターの空き地に東京から移住者を迎える事業などを退職職員に取り組んでもらえるよう、検討してはどうか。

烏谷部副町長答弁

現在、再任用制度を実施しており、現時点では10名ほど再任用を受ける予定となっており、何かプロジェクトチームでも町に提言する機会を持てれば、私どもも助かると考えている。

再任用制度とは

定年退職する職員が再任用を希望する場合、町長は、退職日の翌日、地方公務員法の規定に基づき、当該職員が年金支給開始年齢に達するまで、常時勤務を要する職に当該職員を再任用するもの。

質問

南小学校跡地にJリーグ出身の指導者を招いて青少年がオリンピックやJリーグを目指す環境として、合宿所を作り育成しては。

三浦町長答弁

公募ですので、どんな人という提案をしていただきたい。

質問

小さい町は弱者ではないと思う。行動を起こすか起こさないかだと思うので、いっぱいアイデアを持って動かなければ消滅自治体になる。

五戸町の20年後、30年後を考えて、いい決断をしてほしい。



利活用を公募予定の旧南小学校



若宮 佳一 議員

「健診のまち五戸」に 取り組むべき

町長 総合振興計画に盛り込む

質問

平成27年度から10年間の第2次五戸町総合振興計画の策定作業の進み具合は。

三浦町長答弁

平成26年10月21日に五戸町総合振興計画審議会を設立、現在意見を求めている。

質問

少子化、人口減少社会に突入している状況での維持・発展のための対策をどう考えていくのか。

①教育分野として

- ・受検のまちについて
- ・医師をつくるまちについて

三浦町長答弁

健康診断の重要性の知識を習得させるため、小・中学校での検診についての健康教育を充実させる。

・より多くの児童・生徒が将来、医師を含めて希望する職業を思い通りに選択できるように、一人一人の学力を

向上させるための施策が重要。

質問

- ②医療・福祉の分野として
- ・五戸総合病院のあり方
- ・受検のまちについて
- ・介護施設のあり方

三浦町長答弁

・よりよい医療提供を図るため包括ケア病床導入に向けて検討を重ね、病床数や看護師の体制、施設基準を検証し、届け出の準備を進めている。

・特定健診受診率向上の

ため、今年度、自己負担の無料化、日曜検診の実施などの施策を行った。しかし、受診率

20%は超えるものの、

県内平均の30%におよ

ばない状況である。

今後は、五戸町が受

検のまちとなるように

検診体制及びサービスの

充実を図ることを盛り

り込みたい。

・介護予防を重視した施

策を展開しながら、需

要と供給のバランスを

見ながら将来的な見通

しをたて、十分検討・

三浦町長答弁

- ③公共インフラ分野として
- ・下水処理事業のあり方
- ・道路維持・改良のあり方
- ・簡易水道のあり方

質問

協議し、基盤整備を計画的に進める。

強化し、水質改善と安定供給を図っていく。

質問

五戸町は青森県南に位置し、地震や台風、大雨や大雪などの災害が比較的不多い地域であり、その特性を活かして「防災のまち五戸」のまちづくりをするべきではないか。

三浦町長答弁

そのことからすれば近隣市町村からの避難者の受け入れもできるものと思う。

しかし、住民が災害の恐ろしさを自覚し、主体的に地域の安全を担うだけの力を養っていくことが必要となる。個々人の自覚が地域全体に自立と連帯を育み、協働の防災まちづくりへとつなげていく。



町民運動会で健診をPR

・倉石地区は設置から30年以上経過し、施設の老朽化対策が必要である。長寿命化計画を策定し国庫補助の活用により水道施設の機能を

深刻化する認知症への先進的な取組み

参加議員…大沢副議長
高山議員・鈴木議員
若宮議員・尾形議員
川村議員・三浦(専)議員
中川原議員・三浦(俊)議員

研修先…北海道苫小牧市
認知症への取り組み

認知症カフェ…ほっとカフェ

目的は、認知症の人の家族の介護負担の軽減を図るため、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰でもが参加でき、集う場所を提供する。

平成26年6月から市内10会場で開催

人員…2人から6人
経費…1回1万円

百円程度の飲食物(コーヒー)を提供

認知症初期集中支援推進事業

目的は、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

平成25年8月から平成26年3月までに、認知症初期集中支援チームが支援した人は39人で、男性49%、女性51%。

認知症サポーター養成講座の取り組み

認知症を理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を受講した方が認知症サポーターである。

平成18年は40人だったが、平成26年8月31日現在9131人。

見守りSOSネットワーク事業

この事業は、高齢者が行方不明になった時に、警察だけでなく地域の協力団体等が捜査に協力して速やかに行方不明者を発見保護する仕組み。

平成26年9月24日現在、SOS捜索情報メール登録者数は310件、認知症者の事前登録者数は23名。

危険空き家対策に条例を！

研修先…北海道室蘭市
空き家と老朽危険家屋対策

室蘭市では、平成24年度から対策を進めており、平成25年1月には「空き家等の適正管理条例」を施行している。

老朽化し倒壊やその恐れのある危険な状態の空き家等の対応について条例を制定したものの、

条例は所有者の責務を明らかにし、所有者自らによる対応を前提とするものであるが、所有者まかせではなかなか改善してもらえず、行政が積極的に関与していかねば解決に至らないケースが多数ある。

そこで、室蘭市では空き家対策の窓口として専門の担当課を設置し対応している。特に、空き家危険家屋の解消には行政の人的支援が多分に必要であるということが言われている。

しかし、このように積極的に取り組んでいる自

治体においても解決困難な物件が40%もあることなどを考えると、自治体だけでの解決方法にも限界があるなどつくづく感じた。



半壊となっているが、対応が困難な家屋

視察と見学
2件の研修のほかに、視察と見学を行いました。
北海道立中央農業試験場 岩見沢試験地を視察
水稲業務用・加工用・酒米の新品種育成、水稲栽培、水田転換畑に関する試験を行なっている。



実績や今後の課題などの説明を受ける

日本環境安全事業株式会社 社北海道事業所を見学
北海道・東北・北関東・甲信越・北陸の15都道府県のPCB廃棄物を処理している。



PCB廃棄物の処理の様子を見学

県外行政調査研修

全小中学校にA L Tを配置

職員の4人に1人が福祉部職員

参加議員・和田議長

大久保議員・川崎議員

沢田議員・柏田議員

研修先・静岡県藤枝市

教育日本一に向けた取り組み

組み

特に英語教育に力を入れ、中学校卒業段階で簡単な日常会話ができることを目標に、次のことを実施している。

実施内容

1 小学5年生から5年間のスパンで一貫した英語教育(コミュニケーション能力重視)

2 平成24年度から市内全小中学校12校にA L Tを配置(平成25年度は1名増の13人)

3 同じ校区の小学6年生と中学1年生は同じA L Tを配置

4 A L Tの統括、指導役としてF C A(フジエダ・シティー・アドバイザー)を任用

5 複数のA L Tと国際交流活動(出身国8か国)

特定健診・がん検診

受診率向上の取り組み

昭和48年に保健文化賞を受賞し、昭和60年には厚生労働大臣表彰を受賞している。

特徴

1 保健委員(自治会長が兼務する925人と元委員約2万人)の30年にわたる活動

2 特定健診受診率が47.2%と高い

3 メタボ率が低い

4 糖尿病有病者が少ない

5 がん検診受診率が高い

6 がん標準化死亡率が低い

7 75歳以上の高齢者の医療費が安い

8 医師会との連携が良い(医師会の事務局と健診センターが保健センターの隣に位置し、歯科医師会の事務局も保健センター内にある)

9 市役所職員4人に1人(173人)が健康福祉部の職員

年額977万円の貸付収入が町へ

研修先・神奈川県箱根町
統廃合の中学校の利活用

廃校となった中学校を平成24年5月に事業提案の公募を行い、事業者選定委員会による選定結果をふまえ、優先交渉権者と同年10月1日に契約を締結。

主な契約事項

① 校舎、屋内運動場、格技場を無償で貸与

② グラウンドは有償で貸与。敷地の一部は事業用定期借地権を設定し、クラブハウス、観客席が建設される

③ 事業に支障のない範囲で、町民利用団体等に無償で施設開放

④ 貸付期間は満20年間で、契約金額は年額977万円

⑤ 事業内容
① 星槎大学(通信制課程)箱根仙石原キャンパス運営事業
② 星槎箱根仙石原総合型地域スポーツクラブ運営事業

③ スポーツ合宿運営事業



教室へベッドを置き、宿泊施設として活用



夜間照明と人工芝のグラウンド
サッカーコート(ハーフト2面、フットサルコート2面を含む)

議 会 研 修

2件の行政研修のほか、議会研修として、松田町議会で研修を行いました。研修先・神奈川県松田町政策づくりと監視機能を十分に発揮し住民に開かれた議会の取り組み

研修内容

① 先進地視察の方法
松田町では政務調査費が年額6万円支給されており、ほとんどが先進地視察の費用に使われている。

② 町長等の反問権
平成20年12月定例会より反問権を認めている。

③ 協議会等の委員に議員を選出しない
議会の議決が必要な審議会・協議会等へ議員を選出しない。

④ 子ども議会の開催
年1回開催。

⑤ 議会だよりの編集
紙面のパターン化による作業効率の向上。

議員活動報告

知事を囲む行政懇談会

平成26年11月18日、青森市にて県内の町村議会議長が出席し、知事を囲む行政懇談会が開催されました。

各郡議長会から県に対して要望が出され、五戸町の和田議長は三戸郡議長会を代表して要望を行いました。

要望事項

- 災害時における地域防災力の強化について
- 防災専門家をアドバイザーとして町村に派遣
- 教職員に対する防災教育の研修
- 災害防止のため河川支障木の伐採
- 国、県道及び河川のモニタリングカメラ増設

第16回定住自立圏の形成に関する勉強会

平成26年12月18日、おいらせ町にて八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟及び八戸市主催による勉強会(視察会)と講演会が開催され、五戸町議会議員は13人が参加しました。

勉強会(視察会)

- ・大山将棋記念館視察
- ・みなくる館視察



おいらせ町の事業説明
 ・北東北古代文化と阿光坊古墳群整備について
 おいらせ町教育委員会
 主任学芸員
 小谷地 肇 氏

講演会

「金沢21世紀美術館における教育普及活動の現状について」

金沢21世紀美術館

総括マネージャー

西川 哲 氏



※この勉強会は、平成21年度から八戸圏域8市町村の持ち回りで、年3回実施しています。

県外行政調査研修 議員報告会

議員間での情報の共有を図るため、県外行政調査研修の報告会を実施しました。

研修先での取り組み状況を報告し、五戸町との比較や五戸町でも取り組むべきことなどについて話し合われました。

北海道班報告者

苫小牧市 高山議員

室蘭市 若宮議員

静岡県・神奈川県班報告者

藤枝市 柏田議員

箱根町 川崎議員

松田町 大久保議員

(松田町は議会研修)

連合婦人会との懇談会

平成27年1月24日、町立公民館において五戸町連合婦人会主催による議員との懇談会を行いました。

今回で2回目となるこの懇談会は、地区ごとのグループに分かれて行われ、女性目線での質問や要望が多数寄せられました。



町村議会表彰・自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰
 町村議会表彰
 五戸町議会



議員在職15年以上

古田 陸 夫 氏

沢田 良一 氏

川村 浩昭 氏

青森県町村議会議長会表彰

議員在職19年以上

三浦 専治郎 氏

議員在職11年以上

大沢 博 氏

松山 泰治 氏

尾形 裕之 氏

和田 寛司 氏

若宮 佳一 氏

議会報告会の結果

2日間、町内6会場で18名が参加

3回目の議会報告会を開催いたしました。残念ながら前回よりも参加者が少なく、参加者1人の会場もありました。今後も、町民の皆さまのご質問・ご意見・ご要望等をお聞きし、町政や議会活動に反映させ、よりよい五戸町を目指していきます。

参加者及び質問、意見・要望等件数

日程	会場	参加人数	質問	意見・要望等	合計
11月26日(水)	町立公民館	1	0	4	4
	蛭川公会堂	6	4	1	5
	豊間内コミュニティセンター	3	3	4	7
11月27日(木)	瑞穂館	1	0	1	1
	浅水活性化センター	4	5	3	8
	倉石コミュニティセンター	3	1	17	18
計	6カ所	18	13	30	43

議会への質問、意見・要望等(抜粋)

質問：産業廃棄物の処分場建設問題はどうなっているのか？

回答：議会としても、地域住民の意見を尊重して行動するつもりである。

意見：議会報告会の参加者が少ない。参加者を増やす検討をすべき。

意見：議会広報の発行が遅いのではないかと。

●今回ご紹介したほかにも多数のご意見をいただきました。
ありがとうございました。

今後の対応

- 質問、意見・要望等の詳細は、次号(第15号 平成27年5月発行予定)で報告いたします。
- 議会に対する質問、意見・要望等は、各常任委員会へ振り分けて検討し、政策提言に生かしていきます。
- 町政に関する質問、意見・要望等は、議会においても検討し、町政や議会活動へ反映させていただきます。

議会報告会のよひ



瑞穂館 参加人数：1人



町立公民館 参加人数：1人



浅水活性化センター 参加人数：4人



蛭川公会堂 参加人数：6人



倉石コミュニティセンター 参加人数：3人



豊間内コミュニティセンター 参加人数：3人

編集後記

今年最初の議会広報の発行となりましたが、昨年の議会報告会に参加して下さる方が少数でした。

議会広報、五戸ちゃんねるでの議会放送を見ていただいているためか詳細はわかりませんが、これらの広報活動と並行して、今後考えていかなければならないと思います。

また、議会広報は、町民の皆さまと議会を結ぶつながりとして読んでいただける大切な存在と、つくづく思うこの頃です。

議会だよりを読んでいただき、町民の皆さまからこうあれば広範囲にもっと活性化できる等、いろいろなご意見をいただければと思います。

これからも皆様に好印象で読んでいただける紙面づくりに努めたいと思います。

本年も皆様にとりまして良い年でありますように、お祈り申し上げます。

委員 沢田 良一

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月5日開会予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の広報は、平成27年5月発行予定です。

広報常任委員会

委員	副委員長	委員	委員	委員	委員
根 隆 雄	高 浩 司	若 佳 一	松 泰 治	山 宮 一	松 雅 俊
三 浦 俊 哉	柏 田 俊 哉	沢 田 雅 俊	松 田 良 一	山 田 泰 治	松 田 雅 俊